

英語塾DJ 英文法ドリル・句編

＜付帯状況の with＞ 前置詞 with には、「付帯状況」を表わす用法があります。

通常、前置詞の後ろにはパーツが1つ（名詞が）来るのですが、
この付帯状況を表わす前置詞 with の後ろにはパーツが**2つ**あるのです。

そして、そのパーツは事実上OCの働きをしているのです。

【付帯状況 with の形】

with O' + C' : O'がC'の状態です...

with 以下のOCという状況が、主節SVの状況にくっついている、そういう意味です。
この付帯状況 with の使用頻度は他の付帯状況と同じように高いものですのでぜひ覚えておきましょう。

なお、OCがくるということは、Cの意味上の主語はOになります。ですからOに分詞がつづく場合、やはり意味上の主語Oとの関係を見て、能動か受動かの判断で分詞を決定します。

問題：分詞句(with + O' + C')を明示し構造をとり、和訳せよ。

1. ¶ He talked about his dream with his eyes shining.

訳：

2. ¶ He listened to me, leaning against a tree with his arms crossed.

訳：

3. ¶ Most moths are nocturnal and rest with wings spread out wide.

訳：

4. ¶ With the part missing, you can't build the plastic model.

訳：

5. ¶ She was lost in thought with her eyes closed.

訳：

【DJより一言】

Geniusを見ると、付帯状況 with のところに

☆「状況的理由」
キーン

とあります。
つまり、付帯状況は時に理由の訳出ができるのです。

